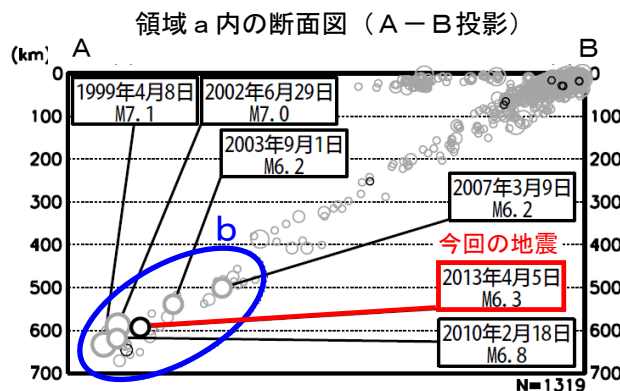
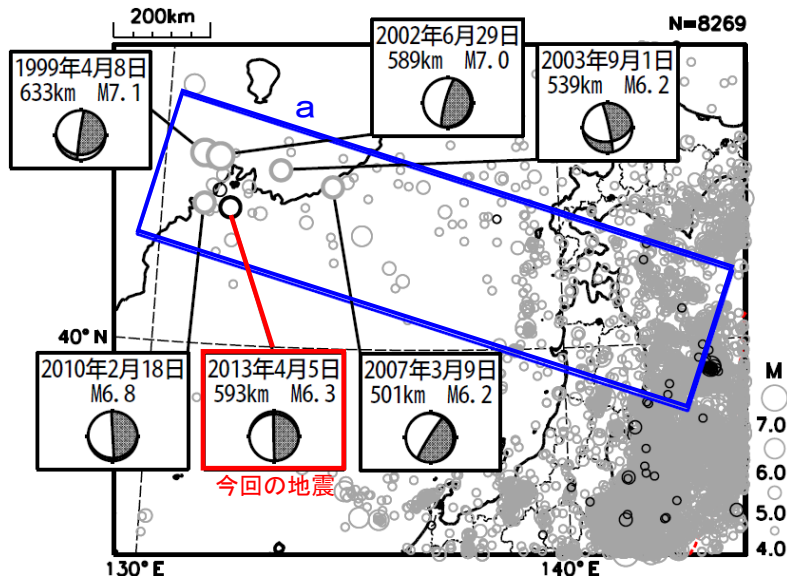


(その他の領域の地震)

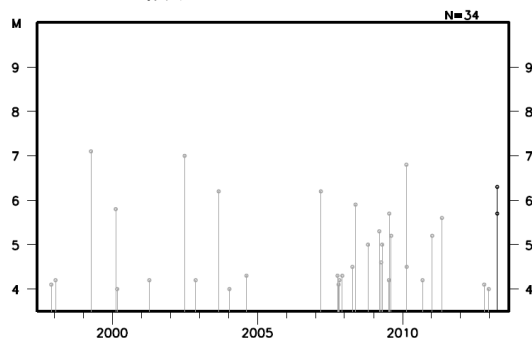
4月5日 ウラジオストク付近の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2013年4月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 4.0$)

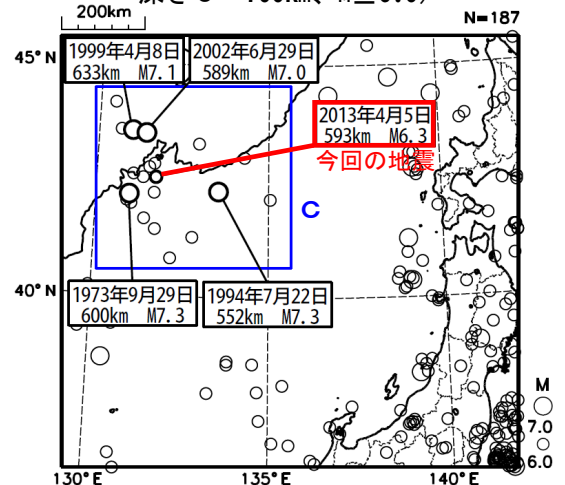
2013年4月の地震を濃く表示。発震機構はCMT解。



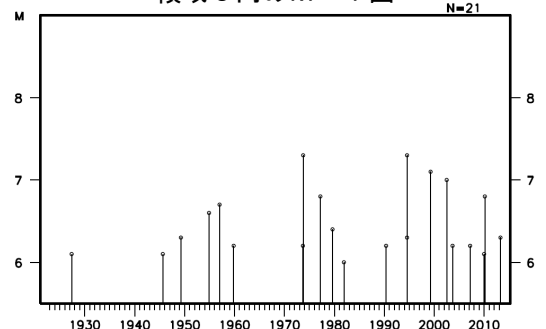
領域b内のM-T図



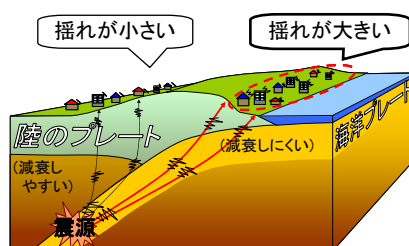
震央分布図
(1923年1月～2013年4月、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図



今回の地震の震度分布図

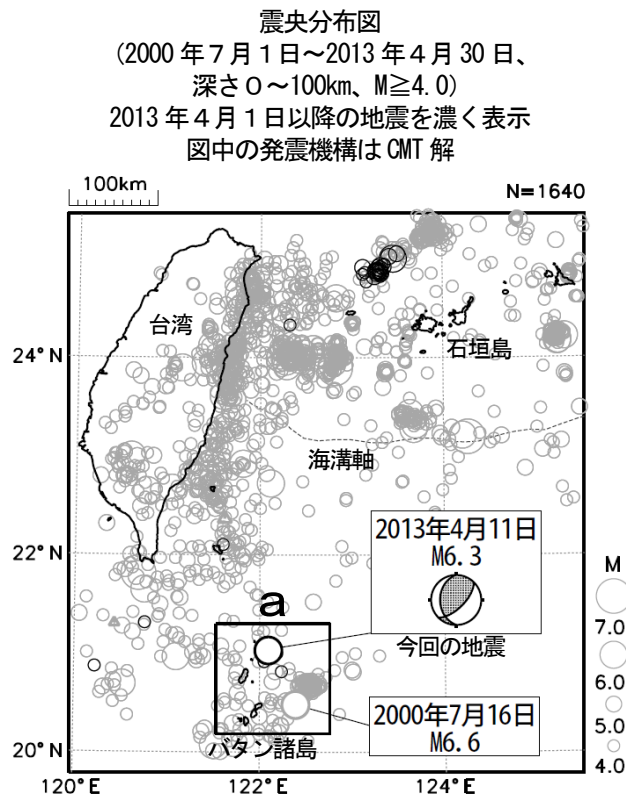


震度分布は震央に近いほど強く揺れる同心円状になることが多いが、この地震の場合、震央から離れたところでも太平洋側の地域ではよく揺れている (異常震域と呼ばれることがある)。

これは、この地震が日本列島の下に東側から沈みこんでいる海洋プレート (太平洋プレート) の深い場所で発生した地震であり、海洋プレート内では地震波があまり減衰せず伝わるために起こる現象である。

(その他の領域の地震)

4月11日 台湾付近の地震

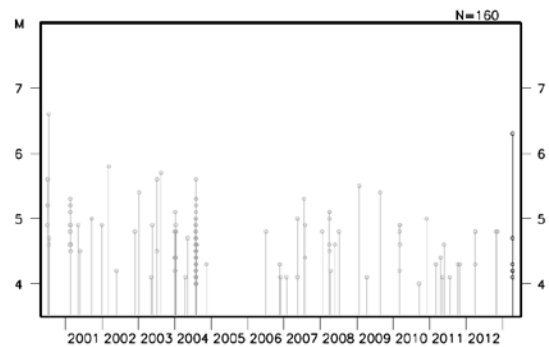


2013年4月11日05時20分に台湾付近（台湾の南東沖）でM6.3の地震（日本国内で震度1以上を観測した地点なし）が発生した。

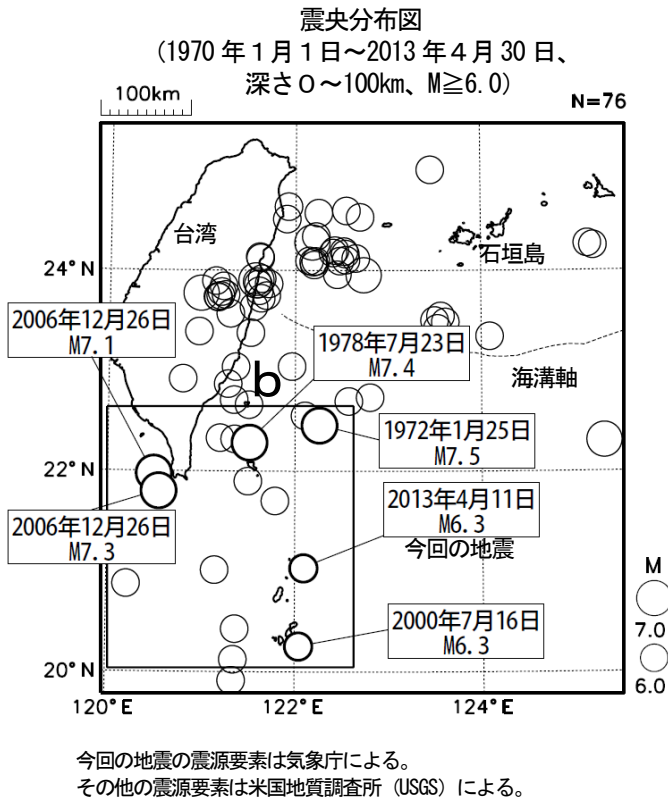
この地震の発震機構（CMT解）は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

2000年7月以降の活動を見ると、この地震の震央付近（領域a）では、2000年7月16日にM6.6の地震（日本国内で最大震度1）が発生している。

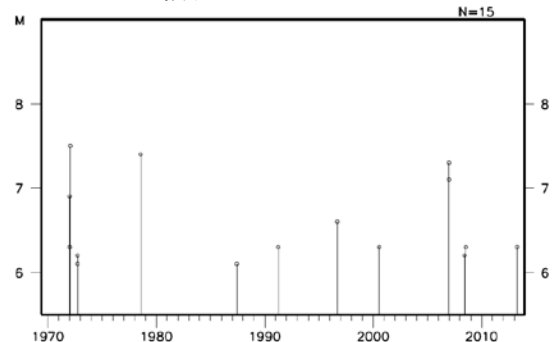
領域a内のM-T図



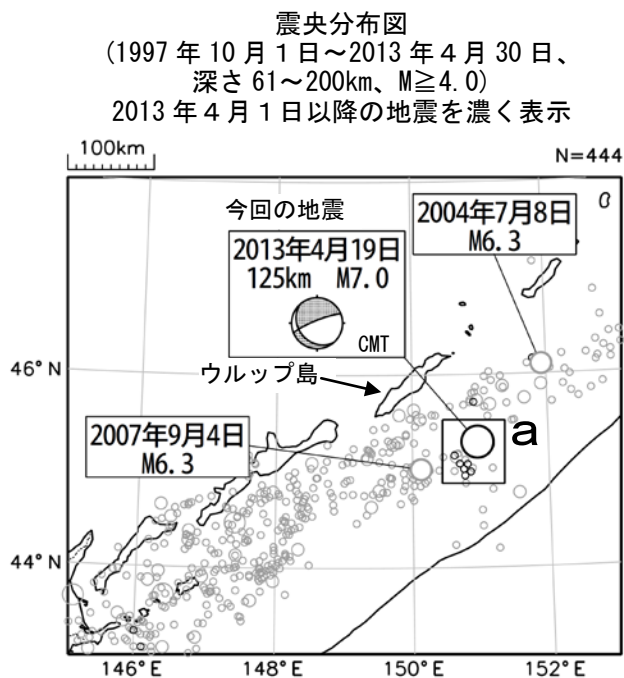
1970年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1972年1月25日にM7.5の地震（日本国内では最大震度3）が発生し、石垣島で5cmの津波を観測、1978年7月23日にM7.4の地震（日本国内では最大震度2）が発生し、石垣島で5cmの津波を観測した。また、2006年12月26日にM7.3とM7.1の地震（日本国内でともに最大震度1）が発生し、台湾では死者2人、負傷者3人の被害が生じた（被害は米国地質調査所[USGS]による）。今回の地震の震央周辺では、M6～7クラスの地震が時折発生している。



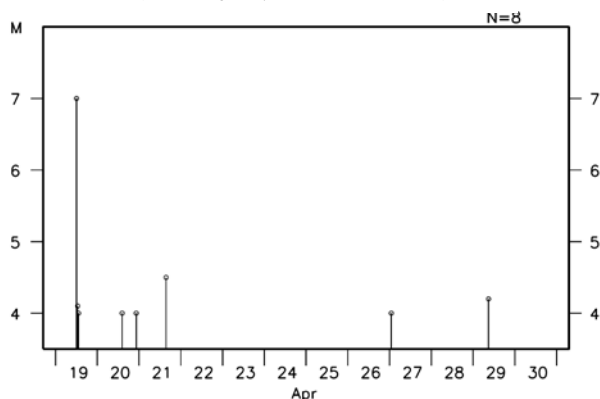
領域b内のM-T図



4月19日 千島列島（ウルップ島南東沖）の地震



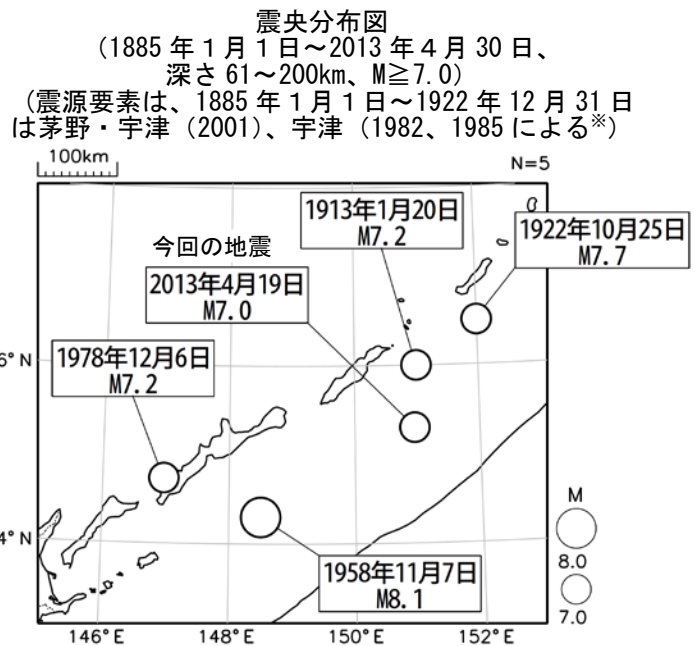
領域 a 内の M-T 図
(2013年4月19日～30日)



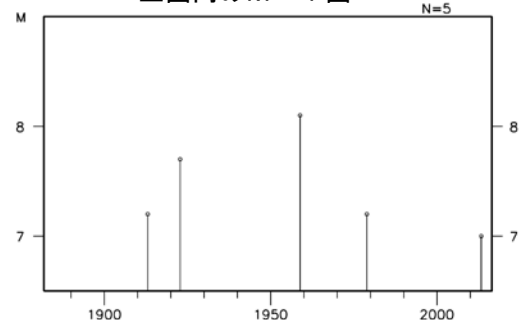
2013年4月19日12時05分に千島列島の深さ125kmでM7.0の地震（最大震度4）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した地震で、発震機構（CMT解）は南北方向に張力軸を持つ型であった。その後、この地震の震源付近（領域a）では、4月30日までにM4.0以上の地震が7回発生している。

1997年10月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、2004年と2007年にそれぞれM6.3の地震が発生している。

1885年1月以降の地震活動を見ると、千島列島付近に沈み込む太平洋プレート内部では、約20年に一度の割合でM7.0以上の地震が発生している。このうち最大は1958年11月7日に発生したM8.1の地震（最大震度5）で、この地震により津波が発生し、根室市花咲で最大の高さ81cmの津波を観測するなど、北海道から九州の太平洋沿岸とオホーツク海沿岸で津波を観測した。



上図内の M-T 図



※宇津徳治, 日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表: 1885 年～1980 年, 震研彙報, 57, 401-463, 1982.

宇津徳治, 日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表: 1885 年～1980 年 (訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642, 1985.

茅野一郎・宇津徳治, 日本の主な地震の表, 「地震の事典」第2版, 朝倉書店, 2001, 655pp